

KFCと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2017年 9月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991

「伊予の名取」文化・風土を学ぶ

尚絅学院大 大学生・教授らが訪問

8月27日から5日間、尚絅学院大の学生と教授ら12人が愛媛県西宇和郡伊方町名取集落を訪問し、自然環境や文化、風土について調査研究し、現地の方々との交流を深めました。

「二つの名取を結ぶ会」代表の大橋信彦さんの後押しのもと、実現することとなった今回の訪問は、今年2月に続き、2度目となります。

「名取」の名前を縁に繋がることとなった名取集落は、愛媛県西端の佐田岬半島の傾斜地に位置しています。宇和島藩祖・伊達秀宗公のお国入りに従った名取の民が定住したとされており、その歴史は古く、400年以上前にさかのぼります。（詳細はハナモモ通信19号で検索）

斜面に張りつくように並び家々と石灰質片岩を用い



名取神社前での集合写真

て連なる石垣群が特徴的です。

調査期間中は、連日晴天に恵まれ、伊方町の方々のご厚意で多くの経験を積みまかせていただきました。以下、伊方町内のピックアップレポートです。



石垣に挟まれた階段



五つ鹿踊りの頭

◎町見郷土館

伊方町にゆかりある民具や生活資料に触れるとともに、学芸員の高嶋賢二さん(44)の説明を受け、学生らは名取地区に対する更なる知見と関心を深めました。説明を受けた「五つ鹿踊り」は、仙台のしし踊り

が起源と言われ350年余の伝統を持ちます。

◎名取地区視察

名取地区の木村公志さん(66)をガイドに、地区全体を案内していただきました。名取地区に広がる石垣群は、結晶片岩という片理面に沿って割れやすい性質をもつ岩盤からなるため、石垣を作るうえで好都合でした。また、人口の増加によって、段々畑の造成が必要となり、地区全体に石垣が増えたのではないかとされています。色とりどりの岩石や、平積みや算木積み(さんきづみ)と様々な組み方で積まれる石垣は非常に美しく目を見張るものがありました。地区内には石垣のほかにも、石像や石仏も数多くあり、瀬戸内海周辺地域との交流が盛んであったことがうかがわれます。しかし、平成に入ってから名取地区唯一の小学校が閉校するなど過疎化が進み、高齢化が問題となっ



緑色片岩・石灰質片岩

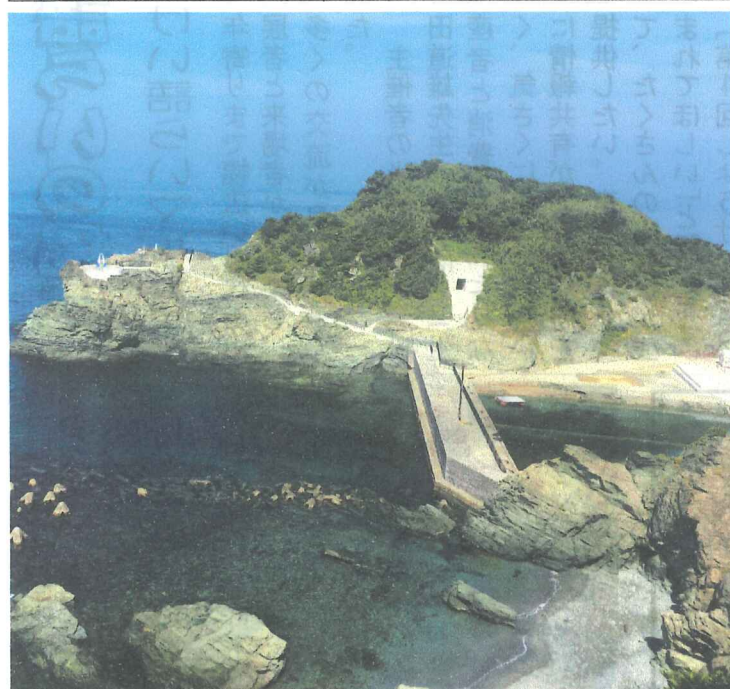


城の石垣にも用いられる「算木積み」

◎佐田岬灯台

四国最西端に建つ、平和のシンボルとされる灯台。1918年の4月1日の初点灯から、100年目を迎える記念に灯台を塗り替えるほか、岬周遊ツアー等も行われています。

今回の調査内容は、10月14日、15日の2日間にわた



四国最西端の佐田岬

って尚絅学院大で開催される尚志祭で発表されます。当日は、パネル展示をもとに現地に赴いた学生らが説明を行う予定です。二つの名取を知る機会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

◇ ◇ ◇

今回が初めての訪問でしたが、名取集落の方々が家族のように温かく迎え入れて下さり、地区の郷土料理でおもてなししていただきながら、お話を伺えたことが本当にうれしかったです。伊予の名取の歴史や文化、そして温かい人柄に触れることができた5日間でした。今後とも「二つの名取」の縁を大切に、交流を深めていきたいです。

(阿部杏圭)

名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く

ジェラテリア Natu-Lino (ナチュリノ)

地元食材 ジェラートに



名取市飯野坂に濃厚ジェラートの店「ナチュリノ」があります。ナチュリノを運営する函南商事株式会社(名取市)は、2011年に発生した東日本大震災で、社員の流出や社員数名が犠牲になるなどの被害を受けました。その際に地域の方々に始め多くの方に助けられた経験から、代表の鈴木知浩さんが「なにか地域に恩返しをしたい」という気持ちで、地元の農産物を活用した濃厚ジェラートの製造を決意し、平成27年7月にナチュリノをオープンさせました。

ナチュリノは、自然で飾り気の無いという意味の「ナチュラル」とハワイ語で光り輝き続けることを意味する「リノ」を合わせた造語で、被災で苦しんだこの地域の中で、自然と人が集まり、皆が笑顔になれる場となって欲しいとの気持ちが込められています。



店内には数多くのジェラートが並んでいますが、私のオススメは「苺シャーベット」と「名取市美田園ファーム大友さんのお米ジェラート」の2種類。苺シャーベットは、苺をそのまま食べているかと勘違いするぐらい濃厚で絶品。お米ジェラートは、ミルク味のジェラートに特殊な手法でお米が混ぜ込まれており、濃厚なミルクの味とお米の絶妙な食感がなんとも言えない味わいを醸し出していました。

鈴木さんはナチュリノのジェラートについて「うちのジェラートは濃さがウリです。主役はジェラートではなく、地域で取れた素材だと思っています。その時期にこの場所でしか食べることの出来ない旬な素材を商売抜きで贅沢に使用しています。お客様にはジェラートを通じて、この地域の魅力を感じていただければ嬉しい」と鈴木さん。この言葉に「地域への感謝」の精神を第一に掲げる、鈴木さんの人柄を感じました。

オススメしたジェラート以外にも、梨シャーベットやパンプキンキャラメルなど季節限定の濃厚ジェラートもあります。一度食べたら病みつきになること間違い無し。ぜひ、地域の食材で作った濃厚なジェラートをご賞味下さい。



ナチュリノマルシェの濃厚ジェラート ジェラテリア Natu-Lino (ナチュリノ)

〒981-1225 名取市飯野坂字南沖 93-1 022-397-8235 定休日/木曜

語りたいたいことをたくさん持っている多様な生産者と教育団体などがコラボし、「来る人皆とおしゃべりがはずみ、笑顔になるような場をつくらう」と今年6月から尚綱学院大で始まったこのイベントは、今回が3度目の開催となります。県内外から10団体が出展し、オーガニック野菜や世界各地から仕入れたコーヒー豆の販売、学生によるギターとサクソフォンの演奏など、会場では高校生からお



生産者と地域の方々、学生、誰もが交流を楽しみながら買物ができる市場、「しようけい語らいマルシェ」が9月13日、仙台市地下鉄東西線国際センター駅2階、市民交流施設「青葉の風テラス」で開催されました。主催者の尚綱学院大・松田道雄先生(56)は、「生産者と消費者が隔たりなく、気さくに集ってお互いに情報共有ができる場所を提供したい。声をかけあつて、たくさんのお会いが生まれてほしい」と話します。「第4回しようけい語らいマルシェ」は、尚綱学院大・学生会館入口にて10月19日(木)11時30分から13時まで開催されます。同時に出展者も募集しています。物の販売だけでなく、趣味や特技の披露など、内容は問いません。お問い合わせ、お申し込みは、尚綱学院大 学連携交流課 電話・022(381)3315



しようけい語らいの場は しようけい語らいのマルシェ



プレゼント企画! 皆さんからのご意見、ご感想をお待ちしております。9月号のプレゼント企画として「東北楽天・河北新報コラボオリジナルタオル」を5名へプレゼント!住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んでの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で左記まで。10月1日締切。



メールアドレスは左写真の下記まで。(阿部杏圭)

(住所) 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1の1の10 (ファクス) 227-8333 「KFCハナモモ通信プレゼント」係。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp

renkei@shokei.co.jp